

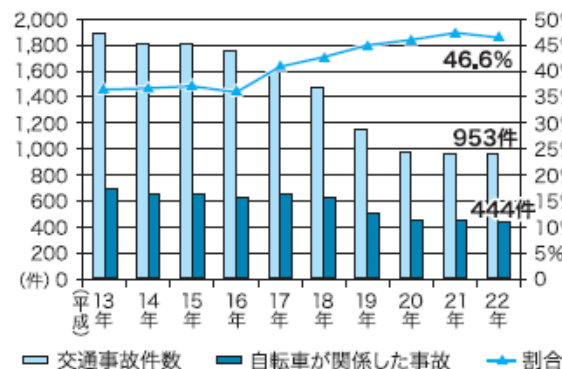


## 7 テーマ 自転車利用の安全

最近、自転車のマナー・ルール違反による交通事故の割合が増えています。今回は、自転車を安全に利用し事故を防ぐための取り組みを紹介します。 交通安全対策課 ☎3981-4856

### Q1 自転車の事故はどのくらい起きているのですか？

**A** 豊島区内で平成22年に発生した交通事故は953件です。年々減少傾向にはありますが、そのうち自転車が関係している事故は444件で、全体の約47%を占めています。



### Q3 ルールやマナーで、特に守られていないものは何ですか？

**A** 自転車側の違反により事故が起きたケースでは、「安全不確認」「一時停止違反」「信号無視」の順で多くなっています。



### 自転車での事故やけがを防止するために

#### 何が課題なの？

- ◆ 交差点・見通しの悪い場所での事故多発
- ◆ 自転車利用者の乗車マナーの悪さ、交通ルールの認識不足
- ◆ 区民が事故危険か所を把握していない

#### その対策は？

- ◆ 標識や路面表示・看板などの新設・改修
- ◆ 自転車安全利用啓発活動
- ◆ 自転車用ヘルメットの普及啓発
- ◆ 交通安全気づきマップの作成など

そして、「効果の検証」  
「対策の改善」へ

### Q2 交差点や見通しの悪い場所では、どれくらい自転車事故が発生しているのですか？

**A** 平成22年の豊島区内の自転車事故のうち、幹線道路以外の生活道路での出会いがらで起きた事故が、約3分の2を占めます。



### Q4 交通安全気づきマップとはどのようなものですか？

**A** 実際に事故が起きている場所と、住民が危険と感じている場所は往々にして違っています。事故の場所と危険と感じる場所を、地域の皆さんが地図に落とし込み、本当に危険な場所に気づいて、事故防止につなげていくのが、「交通安全気づきマップ」です※区ホームページ(アドレス1面上部参照)から閲覧できます。

#### <交通安全気づきマップの例>



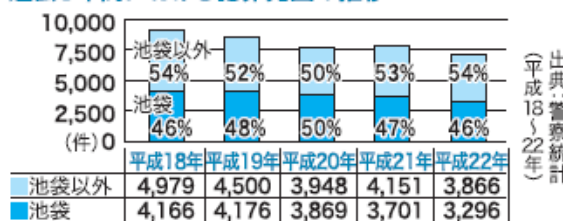
## 8 テーマ 繁華街の安全

豊島区には大小さまざまな繁華街があります。繁華街には人や物、情報があつまり、それに伴い、犯罪や事故も多く発生します。今回は、日本有数の繁華街である池袋駅周辺の安全・安心を目指した取り組みを紹介します。 治安対策担当課 ☎3981-1433

### Q1 なぜ、池袋駅周辺から取り組むのですか？

**A** 池袋駅半径1キロメートルのエリアは、豊島区総面積全体の約1割ですが、豊島区内の総犯罪件数の約5割がこのエリアで発生しています。まずは、池袋駅周辺から取り組みを進め、他の繁華街にも拡大していきます。

#### 過去5年間における犯罪発生数の推移



### Q3 客引き・スカウトの撲滅対策の中身を教えてください。

**A** 地元の商店街・町会などの皆さんが組織した環境浄化団体と警察、区が合同で夜間にパトロールを実施しています。現在、客引き・路上スカウト行為などの規制をより一層強化するため、豊島区生活安全条例を改正して、環境浄化団体が客引きなどを指導できるよう検討を進めています。



### 安全安心な繁華街にするために

#### 何が課題なの？

- ◆ 犯罪の温床となる環境を改善する

#### その対策は？

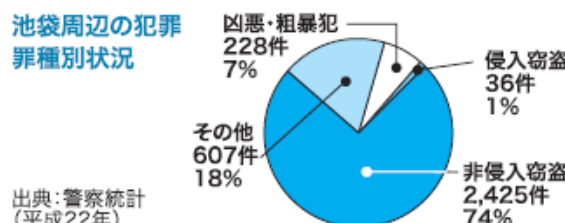
- ◆ 客引き・スカウトの撲滅対策
- ◆ 防犯カメラの設置

そして、「効果の検証」  
「対策の改善」へ

### Q2 池袋駅周辺ではどのような犯罪が多いのですか？

**A** 傷害に至る凶悪・粗暴犯は1割に満たない状況ですが、駅やデパートなど多くの集客施設をかかえることから、自転車の盗難や万引きなどが多く発生しています。

#### 池袋周辺の犯罪罪種別状況



### Q4 防犯カメラは、どの程度効果があるのですか？

**A** 池袋地区の防犯カメラは、平成15年から設置を開始して、現在は、駅構内の防犯カメラを含めると635台が設置されています。設置前と比べると犯罪総数が約42%減少し、特に暴行・傷害などの路上犯罪が約56%と、半分以上減少しました。

